

2016年7月の邦人犯罪被害事例

在フランス日本大使館領事部

7月中に大使館領事部に届けられた邦人の犯罪被害件数は36件で、今年に入ってから
の合計は、7月31日現在189件となりました。

今月のコメント!

◎夏休み期間ということもあり、スリ、置き引きの被害が増加傾向にあります。被害が多発しているのは地下鉄車内・駅構内及びオペラ座界限などですが、外出する際には常に貴重品の管理に細心の注意を払ってください。

◎渡航にあたっては、外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録をお勧めします。

【2016年7月の被害届分析表】

○被害手口	当該月	累計
強盗	2	3
ひったくり	1	9
スリ	21	106
置き引き	10	59
車上狙い	3	7
侵入盗(空き巣等)	1	1
偽警察官	0	0
その他の手口・不明	0	4
合計	36	189

○事件発生時間帯	当該月	累計
0時台～5時台	1	3
6時台～9時台	3	20
10時台～13時台	8	46
14時台～17時台	11	56
18時台～21時台	11	39
22時台～23時台	0	16
不明	2	9
合計	36	189

○事件発生曜日	当該月	累計
月曜日	4	22
火曜日	3	26
水曜日	5	24
木曜日	4	27
金曜日	5	23
土曜日	6	39
日曜日	8	26
不明	1	2
合計	36	189

○平日・休日の別	当該月	累計
平日	21	120
週末・祝祭日	14	67
不明	1	2
合計	36	189

○発生場所	当該月	累計
○パリ市内及び近郊		
地下鉄車内・駅構内	8	38
RERのB線	1	9
上記以外の電車・駅構内	0	10
凱旋門・シャンゼリゼ通り界限	2	7
エッフェル塔界限	0	3
オペラ座界限	7	24
ルーブル・オルセー美術館界限	1	10
上記地区以外のレストラン・カフェ	2	11
上記地区以外のホテル	3	10
上記地区以外の路上	1	23
その他の場所・不明	4	14
○パリ市とその近郊以外		
電車・駅等交通機関	4	14
レストラン・カフェ等	0	1
ホテル	0	3
路上	2	3
その他の場所・不明	1	9
合計	36	189

○性別区分	当該月	累計
男性	18	102
女性	18	87
合計	36	189

○年齢	当該月	累計
20歳未満	1	6
20歳代	7	39
30歳代	9	45
40歳代	4	28
50歳代	8	31
60歳代	3	22
70歳以上	3	13
不明	1	5
合計	36	189

○月別発生件数(2016年)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
18	30	31	23	20	31	36	0	0	0	0	0	189

【7月の被害例】

1. オペラ座付近にて、買い物をした後、バスに乗り込む際、人にぶつかられ手からバッグを落としかけたところ、バッグを持って行かれた。(女性出張者)
2. Passage du Havre 内のスターボックスでショルダーバッグを足下に置いてお茶を飲んでいたら、気がついたらバッグを盗まれていた。(男性旅行者)
3. 自宅に空き巣が侵入し、PCや貴金属類を窃取された。アパートは管理人が常駐しているが何らかの方法で入ってきて、自宅扉に穴を空け、施錠をもぎ取って侵入した模様。被害前日に怪しげな男がインターフォンを鳴らしていた。目撃証言から空き巣が入ったのは自宅を出た直後のようであり、狙われていたようであった。(女性在留邦人)
4. 宿泊先ホテル前のツアーバス内にて点呼を取っていたところ、男性が運転手にバスの後ろに何か落ちていると話しかけた。運転手が見に行った後、被害者も確認しに行った際にバス内に置いていたバッグが盗まれた。(男性旅行会社添乗員)
5. ボルドーからパリに向かう長距離バス車内にて、就寝中、何者かに財布を盗まれた。(男性旅行者)
6. シャルル・ド・ゴール空港近くのホテルにて、チェックイン手続き中にスーツケースの上に置いていたブリーフケースが盗まれた。(男性出張者)
7. 凱旋門の近くで女性数人に囲まれ、気がついたら鞆が開けられており、中から貴重品が盗まれた。(女性旅行者)
8. 地下鉄1号線内にて、いつの間にか肩にかけていたカバンのジッパーが開いており、貴重品が抜き取られていた。乗り合わせた乗客が近づいてきて、ジブシーの女の子がスルところを見たと言った。(男性旅行者)
9. シャルル・ド・ゴール空港内にて、同行者に荷物の見張りを依頼し、構内を歩き回り、5分後くらいに戻ったところ、荷物がなくなっていた。その間、同行者は見知らぬ男に話しかけられ、注意をそらされていた。(男性出張者)
10. 7区のAvenue de Breteuilの並木道を歩いていたところ、男女のカップルに話しかけられ、背中に鳥の糞がかかっていると言われた。見たところ、上着に緑色の液体が付着しており、女性がウェットタオルを取り出して、親切そうに拭き取ろうとした。不審に思い、そのままその場を立ち去ったため何も取られず未遂に終わったが、マスタードスリの手口と思われる。(男性在留邦人)